



## アリの巣をほっても、どうして食べ物が見つからないの

### たいていのアリの巣には、食料貯蔵庫はない

アリは、巣に食べ物をため、女王アリや幼虫の世話をするとされています。でも、アリの巣をいくつもほり返してみても、アリの卵や幼虫や、たくさんのアリが見つかるだけで、ためているはずの食べ物が見つかりません。これはなぜでしょうか。

### アリの仲間の体が食料貯蔵庫

じつは、アリは、ミツバチなどと同じように、自分の胃のほかに、みつなどを集めて運ぶときに使う、みつ胃（そのう）をもっています。アリは、花のみつなども集めてきますが、このみつを、巣にいる仲間のアリに口移しでわたします。みんなから集めたみつを、みつ胃にためて、おなかぱんぱんにふくらんだアリが、巣の中で見つかるはずです。

死んだ虫なども、巣に運ぶと、すぐばらばらにし、肉じるだけのみつ胃にためて、あとはごみとして巣の外に捨ててしまいます。巣の中には、この肉じるだけをおなかにためているアリもいます。

### 貯蔵庫のえさを、みんなで食べる

同じ巣のアリは、おなかですくと、このみつ胃に、みつや肉じるをためているアリから、食べ物をもらうしくみになっています。アリの体そのものが、食べ物の保管場所になっているため、巣を探しても、ためた物が見つからないのです。

秋に草の実を集めるクロナガアリの巣だけは、巣をほり返すと、集めた実がたくさん見つかります。秋集めて保存してある、皮つきの草の実を、冬から春、そして夏まで、おとなのアリや幼虫のえさとして使い、食べるときは皮をむきます。（監修・中山 周平）

